

## 津波断層モデルについて

今回の津波浸水想定では、国が公表した 60 断層モデルのうち新潟県に影響が大きい 7 断層及び、平成 25 年 12 月に県が公表した津波浸水想定調査で採用した津波断層モデルのうち、陸域から海域に伸びる 2 断層の計 9 断層を選定しました。(図 2-1)

津波浸水想定図等では、9 断層の中から、地域ごとに影響の大きい津波断層を選定し、津波断層モデルごとの計算結果を算出し、津波対策上、最大となるエリアや値を表示しています。(別冊「津波浸水想定について(解説)(参考資料)」 「1 津波断層モデルの設定について」参照)

### 【津波浸水想定で選定した津波断層モデル】

- 国公表による津波断層モデル
  - F30(秋田・山形沖)、F34(県北・山形沖)、F35(佐渡北)、F38(越佐海峡)、F39(佐渡西)、F41(上越・糸魚川沖)、F42(佐渡西方・能登半島北東沖)
- 県が平成 25 年 12 月に公表した津波浸水想定調査で採用した津波断層モデルのうち、今回の津波浸水想定でも採用した津波断層モデル
  - 長岡平野西縁断層帯(弥彦一角田断層)、高田平野西縁断層帯

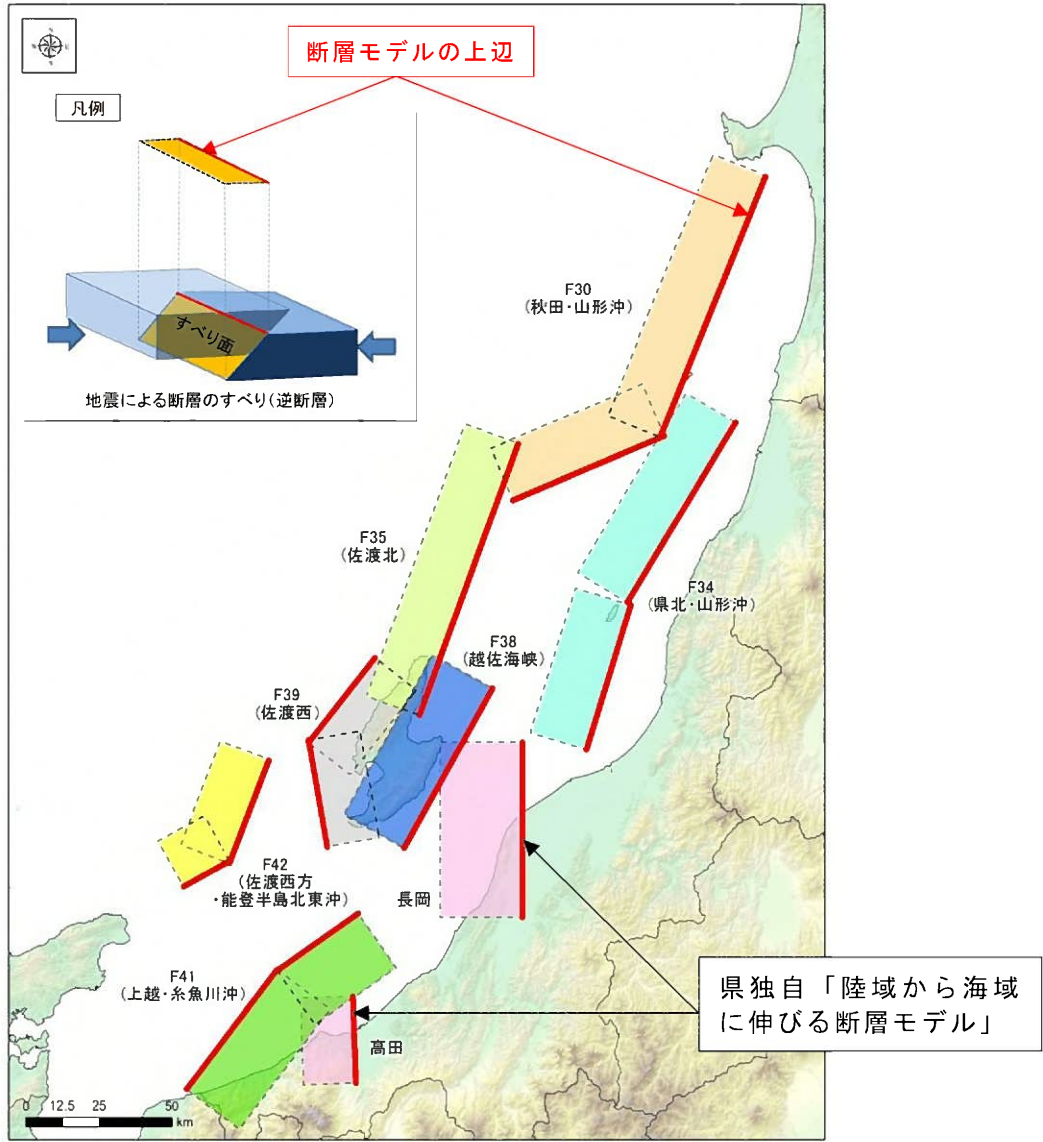


図 2-1 津波断層モデルの位置図